

大名みえ子です

東海村村松 2401-2

ご相談はお気軽にお寄せください

・ fax 029-284-0761

「二人の死をむだにせず、事故を風化させまい」と誓い 墓前でのセレモニーに参加

JCO 臨界事故から7年目の今年。「いつか住民が被ばくするような事故がおきるのでは、その時どうすればいいの?」子どもの頃からよく考えることがありました。99年9月30日、日立市の職場(当時)にいた私に友人から「原子力の事故だって、大きな事故らしいよ。でもどこなのかよくわからないの」と電話がはいりました。「場所を確認してほしい」とお願いして電話を切りテレビをかけると、ただ事ではないことを知らせる報道にビックリ。「子どもたちはどうしているのか、村内はどんな状況なのか」、いても立ってもいられない気持ちと、見え

ない恐怖にさらされた事実は決して忘れることができません。そして二度とくり返させてはならないことです。

村民660人余の被ばく、尊い二人の命がうばわれ、そのご家族の苦しみはいまだ続いていると聞きます。大名みえ子議員はこのセレモニーに参加し、犠牲となられた方の墓参をし、「悲惨な原子力事故をくり返させないために力をつくします」と誓いつつ冥福をいのりました。

(セレモニーを主催したのは、9・30茨城集会実行委員会、茨城県原発を考える会、新日本婦人の会茨城県本部で20名が参加。)



参加者で「青い空は」を合唱

(時折つよい雨が降るなか、参加者はそれぞれ庭先で咲く花を持ち寄り、きれいに生けられました。また、亡くなられた方にささげる言葉、臨界事故を忘れない詩の朗読や「死んだ女の子」などの歌がうたわれました。)

県実施の健康診断が終了？ はじめて受診者へのアンケート調査

事故後、茨城県が希望者に対し毎年行っている健康診断ですが、今年の健診の際はじめて受診者に対し、「JCO 事故関連周辺住民等の健康診断に関するアンケート調査」がおこなわれ、受診者から、「もう健診は止めるということなのか」と不安の声が出されました。また多くの受診者が「引き続き実施してほしい」と訴えました。

県は健診結果のまとめを、症例ごとに人数を示していますが、本来の健診の目的からすれば、推定被ばく線量が示されている方については、個々人ごとの後追い結果をまとめていくべきと考えます。今後県に対し、その方向について申し入れたいと考えています。

緊急性のない議会の海外視察に日本共産党は反対

大名議員が所属する議会ひたちなか地区問題調査特別委員会は、大名議員他 1 名を除く 9 名で、今月 16 日より 26 日までの 11 日間の行程で、オランダ、デンマーク、スウェーデン方面への海外視察に出かけています。日本共産党は、「税金を使っただけの議員の海外視察は、緊急・かつ絶対的な必要性が認められない限り行うべきでない」と、当初予算にも反対をしてきました。視察の主な目的は、臨海地区の開発についての調

査ということで、港湾施設や発電所、ゴミ発電などについてです。視察に係る費用予算は、議員一人 65 万円、渡航に関する委託費 1,023,000 円となっています。大名議員は、「この時期に、これらの目的で何があっても海外視察する必要性はない」との考えで、参加しませんでした。昨今、議会の海外視察を廃止している自治体が増えてきているなか、東海村議会においても廃止を検討すべき重要課題です。



【お知らせ】

| | |
|--------|-------------|
| しんぶん赤旗 | 日刊紙月 2900 円 |
| | 日曜版月 800 円 |

紙面の感想を聞かせてくださいネ。

*ご家族みんなで楽しみ、社会の動きがよくわかります。ご購入をおすすめいたします。バックナンバーは、日本共産党茨城北部地区委員会のホームページでお読みいただけます。

<http://www.jcp-net.jp/ibahoku/>